

あいさつ運動の好事例

備前市立東鶴山小学校

(児童数42名 教職員数14名)

日本一のあいさつをめざして ～ 主体的な取り組みと継続的支援～

アピールポイント

「子どもは地域の宝」といつも支えてくださっている東鶴山地区。

児童の登下校時における気持ちのよいあいさつは、地域の人たちに元気を与えることにつながっている。素直に、前向きに成長している姿こそ、支えてくださっている地域の期待に応えるということになるだろう。

児童の主体的な取り組みと教職員・保護者・見守り隊等の継続的な支援を通して、日本一のあいさつをめざしている。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

全校児童数42名。学校を基点に、東に2班、西に2班が集団登下校を行っている。上級生は下級生の面倒を良く見ており、下級生は上級生を慕っている。

■活動内容

代表委員会でのスローガンの決定

職員室入り口での朝のあいさつ

毎月1度、朝の活動で、通学班による反省

毎朝の付き添い登校

定期的な保護者による登校指導・教職員による交通指導

毎日の登下校における地域の方の見守り活動

■取組の参加メンバー

児童・教職員・保護者・見守り隊

■成果・効果

「あいさつの声がよく聞こえるようになった。」という地域の声を度々耳にする。「当たり前前を当たり前前」できる品格教育の柱になっており、言葉遣いや身だしなみにも改善がみられている。

